

# 令和元年度 小平市立小平第三小学校 学校評価計画表

<b>学校教育目標</b>	○考える子(よく聞き、よく考え、よく判断し、自ら行動できる子) ◎やさしい子(互いの立場や相手のよさを認め合う思いやりのある子) ○元気な子(健康で、生き生きと活動できる子)
---------------	---

<b>目指す学校像(ビジョン)</b>	
【目指す学校像】	児童が「わかる喜び」「やり遂げた喜び」「成長する喜び」を目指す学校
【目指す児童・生徒像】	児童が自分も人も大切に、大切にされる心を育てる、安全安心な学校
【目指す教師像】	教職員が専門職としての自覚をもち、チーム力で協働し、学び合う学校

**前年度までの学校経営上の成果と課題**  
 小平市研究推進校として、「見取ることから児童の肯定感を伸ばす特別の教科道徳」の研究発表を行い、成果を上げることができた。  
 開校140周年を来年度に控え、児童、教職員、保護者、地域の方々がさらに一体となって、誇りにできる学校作りをしていくことが今年度の課題となる。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)	成果目標(評価基準)
学力向上	確かな学力の定着を図る。	基礎的・基本的な知識・技能を定着させる。	学力向上課を中心に、PDCAサイクルに基づき、「学力向上プログラム」を機能させる。	4 「学力向上プログラム」の実施率90%以上	4 児童の達成率90%以上
				3 「学力向上プログラム」の実施率80%～90%未満	3 児童の達成率80%から90%未満
	校内研究「読む力を伸ばし、活かすカリキュラムデザイン ～文学的な文章を中心に～」の取組を推進し、児童に「読む力」をつける。	低・中・高学年別の分科会をもち、教材研究を深め、指導方法の工夫改善をはかることによって、児童に読む力をつける。	2 「学力向上プログラム」の実施率70%～80%未満	2 児童の達成率70%以上80%未満	
			1 「学力向上プログラム」の実施率70%未満	1 児童の達成率70%未満	
健全育成	他者との人間関係を築く力を身に付けさせる。	いじめ防止に向けた組織的な取組を含め、「三小のきまり・約束」を全学級で徹底させる。	生活指導の取組と共に特別活動課による「虎の巻」で学級指導を充実させ児童一人一人が主体的にきまりを守る態度を育成する。	4 教職員の自己評価で、肯定的回答90%以上	4 児童の達成率90%以上
				3 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 児童の達成率80%から90%未満
	昨年度までの校内研究「見取ることから児童の肯定感を伸ばす道徳」への取組を継続する。	昨年度まで小平市研究推進校として行った「特別の教科 道徳」での、「自分事として考える」取組を継続し、全教員が「やさしい子」の育成を目指す。	2 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 児童の達成率70%以上80%未満	
			1 教職員の自己評価で、肯定的回答70%未満	1 児童の達成率70%未満	
健康づくり	健やかな体を育成する。	9年間を見通した健康教育を推進する。	「体力向上プログラム」を機能させ、運動習慣を定着させる。	4 全学年で「体力向上プログラム」を実施	4 児童の達成率90%以上
				3 実施率80%以上	3 児童の達成率80%から90%未満
	食育指導の充実を図る。	食育の指導計画に沿った教育活動の充実を図り、テーブルマナーの指導を推進する。	2 実施率60%以上	2 児童の達成率70%以上80%未満	
			1 実施率60%未満	1 児童の達成率70%未満	
コミュニケーションとして	地域との連携を深める。	来年度の140周年に向け、児童、教職員、保護者、地域が誇りにできるよう、地域の環境、資源、人材等を学習活動に活かしていく。	各学年の学習活動で取り組むほか、全校集会活動等でも地域との連携をはかる。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 教職員の満足度90%以上
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 教職員の満足度80%以上90%未満
	学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。	ホームページやブログ、学校だよりの充実を図ったり、配信メールの登録率を100%にして最大限活用したりする。	ホームページやブログ、学校だよりの充実を図ったり、配信メールの登録率を100%にして最大限活用したりする。	2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 教職員の満足度60%以上80%未満
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 教職員の満足度60%未満
業務改善・働き方改革	教職員が互いに高め合い、協働することで、やりがいをもって働くことができる学校作りをする。	OJTを充実させる。	若手教員と中堅教員との相互の授業参観や授業後の指導を充実させる。定期的な学年会に限らず、日常的に情報交換していく。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 教職員の満足度90%以上
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 教職員の満足度80%以上90%未満
	ICT機器を有効活用する。	配信メールの登録率を100%にし活用することで、お便りの印刷・配布にかかる時間や、紙資源の節約につなげる。一方でホームページやブログ等を活用し、学校の取組を家庭や地域に発信していく。	配信メールの登録率を100%にし活用することで、お便りの印刷・配布にかかる時間や、紙資源の節約につなげる。一方でホームページやブログ等を活用し、学校の取組を家庭や地域に発信していく。	2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 教職員の満足度60%以上80%未満
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 教職員の満足度60%未満